



緊急消防援助隊

National Fire Service Team for Disaster Response

「第6回緊急消防援助隊全国合同訓練」及び

「令和4年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練」への参加について

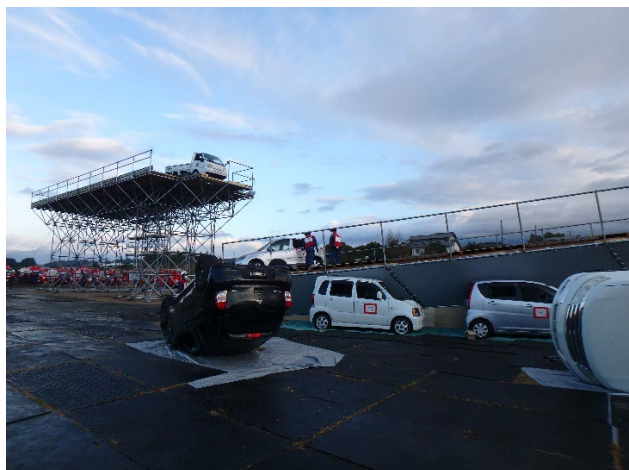
令和4年11月12日～13日の2日間、静岡県において「第6回緊急消防援助隊全国合同訓練」、令和4年11月29日～30日の2日間、埼玉県において「令和4年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練」が実施されました。

この緊急消防援助隊合同訓練は、総務省消防庁の主催により、緊急消防援助隊の技術の向上及び連携活動能力の向上を図るため、都道府県及び市町村の協力を得て、全国訓練はおおむね5年に1回、地域ブロック訓練（関東ブロック）は、1都9県（東京都、千葉県、埼玉県、群馬県、栃木県、茨城県、静岡県、長野県、山梨県、神奈川県）が輪番により実施しています。

「第6回緊急消防援助隊全国合同訓練」

静岡県内各地で実施された今回の訓練では、甚大な被害が見込まれている南海トラフ地震を想定し、47都道府県から過去最大規模の約700隊3,000名の緊急消防援助隊が集結しました。甲府地区消防本部からは、山梨県大隊指揮隊をはじめとする3隊13名が山梨県大隊として参加し、複合建築物火災対応訓練、橋梁崩落救出訓練を実施しました。

【部隊運用訓練】



【宿営訓練】



「令和4年度緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練」

今回の訓練では、埼玉県内で発生した地震による大規模災害を想定し、1都8県から245隊947名の緊急消防援助隊が参加しました。甲府地区消防本部からは、指揮隊をはじめとする3隊11名が、「山梨県土砂・風水害機動支援部隊」として参加し、土砂災害救助訓練を実施しました。

【部隊運用訓練】



【宿営訓練】



【部隊移動訓練】

